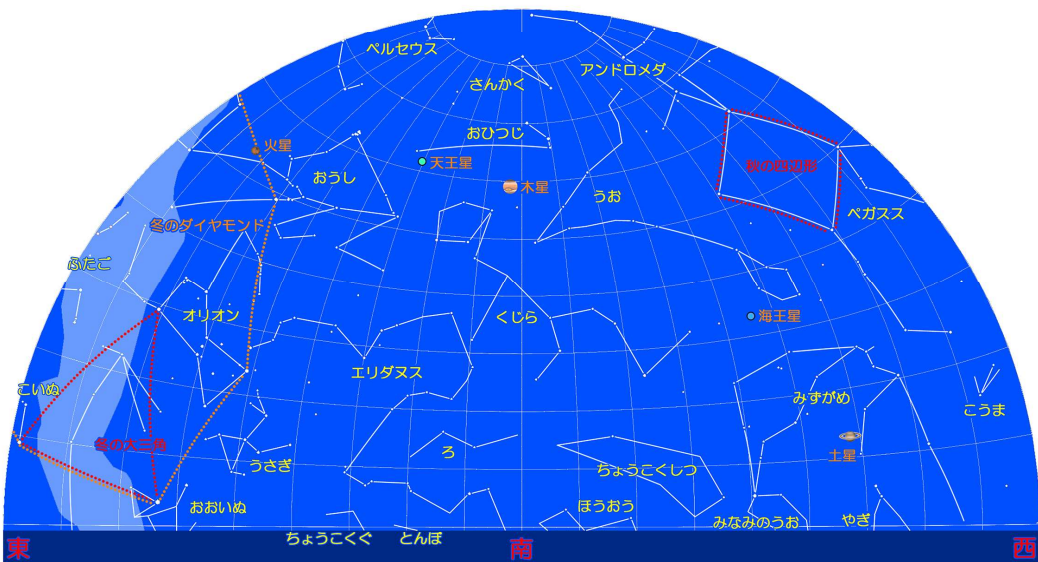




銀河の森天文台

2023年12月みどころ天体情報

12月の星空(15日 20:00頃)



AstroArts StellaNavigator

ふたご座流星群(極大15日 4:00頃)



今年のふたご座流星群は、極大を迎える14～15日の夜が月明かりの影響を受けない好条件であるため、多くの流星を観察できると期待されています。14日21:00頃は1時間に37個程度、閉館後となってしまいますが深夜から明け方にかけては1時間に60個程度の流星が見られると予想されています。非常に寒い時期ですので、しっかりと寒さ対策をして、流星群を観察しましょう。

イベント・天文現象

12月

4(月) 水星が東方最大離角
14(木)、15(金) ふたご座流星群観望会
15(金) ふたご座流星群が極大
22(金) 冬至
23(土) 水星が内合
28(木)～ 年末年始休館

11月

～3(水) 年末年始休館
4(木) しぶんぎ座流星群が極大
13(土) 水星が西方最大離角
18(木) 月面X
31(水)～2/11(日) 冬の大三角と天体観望会

月

	出	没
5日 ● 下弦	23:13	12:09
13日 ● 新月	07:09	15:37
20日 ● 上弦	11:44	--:--
27日 ● 満月	15:37	07:25

天文台から月を見ることができるのは1～2日頃と16～31日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。
距離：約38万km

M37(散開星団)

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

NGC7662(惑星状星雲)

アンドロメダ座に位置する惑星状星雲で青い雪玉(Blue Snowball Nebula)という愛称がついています。名前のとおり、きれいな青色が印象的です。

距離：約2000～6000光年

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が4個あるので探してみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

M42(散光星雲)

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの4つの星(トラペジウム)が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

その他おすすめ

M52(散開星団)
M76(惑星状星雲)
NGC1514(惑星状星雲)
アルマク(重星)
アキルド(重星)

開館情報

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)
13:00～21:30
(10月～3月)

休館日